



2018年5月1日(火)

小栗キャップの News Letter

税理士法人オグリ 代表社員・税理士 小栗 悟

岐阜本部 〒500-8847 岐阜県岐阜市金宝町1-3 岐阜第一生命ビル 4F

TEL : 058-264-8858 FAX : 058-264-8708

名古屋本部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内一丁目16-15 名古屋フコク生命ビル 6F

TEL : 052-222-1600 FAX : 052-222-1611

Email : info@otc-oguri.com <http://www.otc-oguri.com>

相互持合株式評価余話

相互持合株式評価のエクセル手法

相互持合株式の評価では、連立方程式を解くことにより、相互持合い効果を維持しつつ重複評価額部分を排除します。

しかし、関係会社5社の相互持合い、などといったら、それぞれ連立方程式を解くのも大変で、それが正解か否かも不確かなはずです。

その計算正確性の確認のために、Excelを使って、

1. 解いた連立算式を Excel に入力する
2. Excel で逆行列数学計算をする
3. Excel で循環参照となる式を作り、
反復強制計算する

と、それぞれで解を求めて、それが合致することで、正解を担保することが出来ます。

シミュレーションから異常値

各種の計算方式の答えを差し引きし合っ
て、差がゼロになることを確認していると、
エクセルは時々「-0」という表現をすることがあります。

「0」と示しているところでも、「IF関数」などを使って、「0だったらYes、0でなかったらNo」と示すことを求めると、「No」と表示することがあります。

その原因は、小数点以下の表示を何桁も示してみるとわかります。小数点以下、16

桁のところで突然「0」でなくなり、数字が現われてきたりします。

こういう現象は、引き算が小数点以下のデータを対象とするところに現われてきます。ネットで探し求めた解説によると、10進数から2進数に変換して計算し、また2進数から10進数に変換表示するためのコンピューターの不可避的な誤差現象のようです。

Excel は巨大な数字も苦手

Excel で異常値を示すのは、小数点以下の桁数が大きい時だけではありません。足し算でも、同じで、15桁以上の結果となる値では、少ない桁数の部分の数字はことごとく0になってしまいます。

そういう現象は、計算値ばかりでなく、単純に大きな数字を無造作に入力しただけで、15桁超での入力数字の下の位は0表示となります。小数点以下の数字の単純入力でも、同じです。



Excel は、天文学的数字や細密な数字のデータ処理には使えないんだね。